飯田高校同窓会報

第39号
発行人
長野県飯田高等学校同窓会長　長坂好忠
編集委員長　平沢秀明
印刷所　㈱南信州新聞社

桜の下をランニングする女子生徒たち　題字 前島忠夫氏（中17卒・97歳）

独立100年に向けて

同窓会長　長坂　好忠

世は内憂外患、内患外禍と混迷を深めつつ二十一世紀は迫ってきます。こんな時勢の中、会員諸兄には益々ご健勝にて内外各地、各界多岐に渉り、夫々の立場でその力倆を発揮されてのご活躍に心より喜び申し上げます。幹事を先達に同期生会、支部長を中心に組織された二十六支部が個性的な特色ある活動をされ、本会目的達成の原動力としてのご協力に感謝と敬意を表します。

本会も事務局のほかに委員会も若い人の参加も得て期待に応えるべく努力しています。

来たる二千年には独立百周年を迎えます。その記念事業推進の為、学校・PTAと一体となり委員会を組織し、老若渾然とした、多くの委員のお骨折りを得て、百年の歴史の意義を重くとらえ、叡知と創意をもって本校らしいものにする所存です。

御協力をお願いします。

母校も校舎改築が終り、プールの移設、北体育館の改築・講堂の解体等課題はあるものの県下随一の現場に相応しい内部充実の為、校舎はじめ先生・生徒が全校挙げて努力しており、必ずや武道道の精華をあげるのと期待をしています。同窓会は会員の協力で成り立つものであり、会員が関心を持ち、全ての面でご支援を頂いて、はじめて活動ができるのです。老壮青と時代により価値観や考え方の相違はあっても、一世紀に渉り続かれた後輩へと引き継がれた母校愛が何よりも大切であります。母校を通じての一期一会の絆も強く、連帯意識と親しみを持ち、人脈の広さ、信頼感も大切に、幹事、幹事長方々の格別なるご指導とお骨折り重ねてお願いします。

母校と同窓会の益々の発展と郎党のご健勝とご繁栄を祈念し挨拶とします。

独立100周年に向け 老若渾然の協力を

【事業の名称】

二千年に独立百周年を迎える本校は「飯田高等学校独立百周年記念事業」を、学校・同窓会・PTAの三者が事業主体となって、平成十二年十月に行うことになり、実行委員会（長坂好忠委員長）を組織してスタートした。

【実行委員組織】

実行委員会は本会常任委員会の他、企画・財務・記念誌・記念事業・交化交流・式典の各委員会に分かれ、延べ人員は総勢百二十人となっている。

【基本理念】

記念事業を行う基本理念として▽百年の意義を重くとらえ、叡知と創意をもって本校独自のものにする▽いたずらに華美に走らず、質素であって格調の高いものにする▽生徒と共に、地域社会の期待に応えられるものにする。

【事業方針】

この事業の方針として原則として、本校舎改築記念事業の寄付残額を充て、母校の教育環境の整備を目的とする基金創設のための資金は、新たな寄付による。寄付は少額でも、より多くの同窓生を中心とした、母校への思いを大切にする。

【事業の内容】

▽記念式典と祝賀会＝式典は質素に、祝賀会費は参加者の自己負担

▽母校支援教育振興基金の創設＝独立百周年を機に「母校支援教育振興基金」を創設する。この基金は母校の教育環境整備を支援するためのもので、将来につながる基金とし、管理運営委員会を設けて運営に当たる。当面予測される学校設備で、公費の対象とならない経費を支援するため、目標額を二千万円とする。

▽記念・記録に関する事業＝学校史の刊行（「飯田中学・飯田高校」の増補、同写真集「中学・高校のあゆみ」の改訂版を刊行する。ブロンズ像、または記念碑の設置。ピアノ（明治二七年購入）の修復など。

▽先輩と在校生との交流＝教育問題シンポジウムの開催、先輩による記念講演会・音楽会・スポーツ交流、生徒の作品展

▽地域社会との交流＝作品の開催等、学校所蔵の文化財や地域の整理、目録の作成。

▽募金の金額＝総額二千万円とし、一口の単位は個人五千円、法人三万円とする。この管理運用は事業主体二者による担当委員会が当たる。

◇　◇　◇

（役員◎副）

▽主な実行委員＝常任委員会◎長坂好忠○高安健之○河原　進○塚田紀昭▽企画委員＝◎樋田盛廣○今村　衛○河原　進○事務局＝◎宮下　洌▽財務＝◎伊藤博光○小林早志○前田　勝▽記念誌＝◎三浦　宏○北村　純○塚平福男○吉川武重▽記念事業＝◎中島　清○大野英夫○永井嗣隆▽文化交流＝◎酒井　寛○知久一彦

第1回 記念誌刊行委員会（同窓会室で）

定期総会 記念講演講師 近藤廉治氏 紹介

昭和二年（一九二七）飯田市生まれ。二十六年飯田中卒（44回）、二十七年飯田高卒、三十二年信大医学博士。国立武蔵療養所を経て四十五年、県立駒ヶ根病院長。四十七年南信病院を開設して院長となり現在に至る。著書「開放病棟で診る」ほか。

主張＝二十一世紀は自分をコントロールするのが難しい時代。この中で生き抜くには先ず文明の恩恵（光）と弊害（影）をよく知り、影の対策を考えることが大切。「周りに左右されない自分」「変わっても決まらない自分」を心掛けることが大切。この感性を育てるのは家庭である。

飯田高等学校同窓会 定期総会のご案内

下記により本年度の定期総会を開催いたします。会員の皆様には、多数ご出席くださるようご案内いたします。なお懇親会ご参加の方は、7月10日㈮までに事務局へご連絡ください。

記

日時　7月18日㈯　午後2時

会場　飯田市 ホテル オオミヤ

①議　事
　会務報告、決算、予算案、
　独立100周年記念事業について　ほか

②講　演　講師：南信病院 院長（伊那市）
（午後3:00～）　近藤 廉治氏　中44
　演題「楽しく生きるために」

③懇親会　講演終了後　会費　男性3,000円
　女性2,000円

〔事務局〕飯田市上郷黒田450　Tel 0265(23)2650
　Fax 0265(23)2690

飯田高等学校同窓会
会長　長坂　好忠

支部だより 東から西から

待ちこがれた再出発

伊那支部

飯田高等学校同窓会伊那支部総会

総会に続いて、南信病院長の近藤廉治先生の「生活の中の話題」のテーマで、ユーモア溢れた講演があり、続いて懇親会に入りました。

「出席してよかった。次回から同期の幹事に呼びかけ盛大にやろう。」という声が大半でした。新役員は、顧問　牧内寛来　中34
支部長　近藤廉治　中44
副支部長　登内英憲
幹事長　宮下直人
幹事は後日選出等で決定されました。
(高5　宮下直人)

再発見 麻績の里

座光寺支部

支部総会は、三月七日地元「ふじ松」で開かれました。宮沢博人支部長の挨拶に続いて、当支部恒例の会員講話は、小島義氏(中41)が「思いつくままに」と題し、麻績の里の再発見として区内を、ブロックに分け、古墳遺跡の現況をその特徴や意義、時には歴史的背景にまで話を進められた。氏が長年培ってきた説得力のある話し振りに牽引され、往時にタイムスリップした。区内には高岡古墳をはじめとする沢山の文化財があることを再認識し、時あたかも栄の良明日香の木下古墳のニュースがかけつけたことで、実にタイムリーな講話であった。
(高4　湯沢　次利)

全員参加の行事を模索

山本支部

昨年十一月二十九日、長坂会長をお招きし、約二十名が参加して総会を開催。母校の現況について、会長から一部ふぞろいにお話しをいただきました。

昨年度も特別な行事もなかったが、会員数も百九名となり、年々増加している。

懇親会では、それぞれの思い出に話は尽きない。辛口の時事評論も飛び出し、宴が最高潮に盛り上がったところで校歌を合唱し、お開きとなった。

今後の活動については、会員全員が自宅に参加できるような行事を模索している。
(高4　吉沢喜昌)

総会で「高砂」の一節

丸山支部

毎年総会には会員の卓話をお願いしていますが、今年は田中高校長(中41)の「謡曲三昧」でした。話しの後、「高砂」の一節が披露され、謡曲の文化的背景、謡曲山の文化財があることを再認識し、時あたかも素晴らしさと、奥深い響きを味わうことが出来ました。

総会は三月八日今宮平で開催し、二十名が出席、講演の後、長坂会長から学校の近況報告があって閉会、懇親会ではカラオケで会員の美声(?)を聞かされ、つい誘いにのって長坂会長も流し声で一曲歌って拍手喝采。斉藤良代(中33)の万歳三唱で、幕となりました。
(中47　坂下幸彦)

自身を問い直す

高23回卒

卒業二十五周年記念事業が、一昨年十一月、全国からの二百余名の参加による盛大に開催されました。会場の母校体育館は、当時学生に人気があった、一世を風靡した小椋桂氏をゲストに迎えたことから、家族や一般のファンが詰めかけ、熱気に溢れてました。

懇談会も恩師を交えて和やかに行われ、往時の面影を残しつつも人、全くわからなくなっているなかで、改めて自分の立場を認識できた会でありました。

今回の社会はモノが溢れる一方で、自然や人の心が失われています。会員の母校体育館は、当時学生に人気があった必要があると感じました。
(高23　平沢和人)

百歳まで頑張ろう

中29回卒

平成五年、長期計画という第一回生のまとめ役として二十九回生のまとめ役をしてきていた太田正孝、老齢にも関わらず、故人は、満八十五歳を過ぎ、老齢にも関わらず、故人となりました。今や同級生は、満八十五歳を過ぎ、老齢にも関わらず、故人となりました。

太郎君、喬木村長だった沢村君、喬木村だった松島五郎君、豊丘村教育長だった沢次郎君等が、

会の内容は「当番校挨拶」一年間の主な出来事、一般会計、電費会計報告、協議、意見交換、そして懇親会。飲み語り歌い、まさに盛会であった。

懇親会、次期当番の頭脳、健康会を期し、万歳閉会となった。参加者は、なお、東京在住の同期生が定め連絡をつけることになっている。

高齢になったからも一と暖かい時期にとっても見あり、アンケートをとった結果、様々な意見が出、結局前の様に収まった。
(中42　田中幸美)

三六回の現況

中36回

三六会は昭和七年の入学時の学友百二十四名を会員としているが、戦争中の犠牲者数がこの世を去った。命ある者のつどとして、次のような活動をしている。

一、三回目の法要を計画中。

二、会報「嶺峰」の発行

三、会員名簿の発行

現在四十号を編集中で、

海外から Hello!!

(ハワイ在住)

ハワイには現在、日本人人口の約十分の一、十年を越えた。

ハワイの海は「ブルーに輝き、空はあくまでも青い。その風光も百年間積み重ねて世界各地からの訪問者の目を楽しませてきた。

ひるがえって、帰りたくても帰れなかった出稼ぎ移民たちが、苛酷な砂糖畑の仕事の骨休みに、砂糖キビの葉影から、「あの海の向うに故国がある。早く金をためて故郷へ帰りたい」と思って見つめた海とは、今日の観光客が見る海とは、全く異った海の心象ではなかったかと思う。

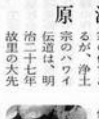
その伊那谷の開拓者を仰ぎみつつ、私はマウイ島イナムの地にある浄土宗寺院に在住して既に三年を越えた。

ハワイの海は「ブルーに輝き、空はあくまでも青い。その風光も百年間積み重ねて世界各地からの訪問者の目を楽しませてきた。

ひるがえって、帰りたくても帰れなかった出稼ぎ移民たちが、苛酷な砂糖畑の仕事の骨休みに、砂糖キビの葉影から、「あの海の向うに故国がある。早く金をためて故郷へ帰りたい」と思って見つめた海とは、今日の観光客が見る海とは、全く異った海の心象ではなかったかと思う。

一世のみた海

原　源照(高6)山本出身



二十九回生の顔としていずれも健在。

最近、東京在住の井原種男君が「とんとこい百歳」(全代文芸社刊)という名著を出しました。田中正明君、久保田正文君も文筆活動を続けておられます。
(中29　上松陽之助)

同学年だより わが青春の回顧録

42回生の動向

中42回

飯田中四十二回生は二月十一日(建国記念の日)

この人に聞く

インターネット ホームページ

http://www.iidanet.or.jp/~ikd

支部総会開催状況

松本	5月23日	
静岡	5月24日	
竜江	5月31日	
飯田市役所	6月1日	

同級生交歓

文芸春秋六月号などの「同級生交歓」に、「飯田高校十四」の卒業生が紹介されています。ご覧ください。

卒業生進路状況

今年度の特徴としてまずあげられるのは、センター入試受験者(318名)、国公立大学受験者(延べ445名)が本校としましては過去最高となりました。進路指導の方針として、国公立大受験を指導の中心にしており、生徒の約90%がセンター入試を受験しています。

今年度、比較的目立った合格大学に信州大学(17名)、名古屋大学(8名)、静岡大学(8名)、また学部では医学部(4名)があります。

大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒	大学名	現	卒
国立大学			公立大学			大東文化	7		愛知工業	2	
北海道	1		釧路公立	1	33	大正	1	1	愛知学泉	2	
東北	2		茨城県立医療	2		拓殖	2	2	愛知淑徳	2	2
山形	1		高崎経済	3		多摩	1		椙山女子学園	2	
茨城	2		東京都立		1	中央	8	8	中京	8	2
図書館情報	1		東京都立科技	1		津田塾	2		中京女子	1	1
筑波	2		東京都立保健	1		帝京	1	1	中部	3	
群馬	2	1	都留文科	2		東海	8	5	同朋	2	
埼玉	4		山梨県立看護	2	1	東京家政	2		藤田保健衛生	2	
千葉	2	1	長野県看護	2	1	東京経済	2	2	南山	1	5
電気通信	1		静岡県立			東京女子	3		日本福祉	5	
東京		2	大阪女子	1		東京女子体育	1		名城	5	5
東京外国語	1	1	公立大学計	15	3	東京電機	2		松阪	1	
東京学芸	4					東京農業	2	1	京都外国語	5	
東京水産		1	私立大学			東京理科	3	8	京都産業	1	
東京農工	1		札幌学院	1		東邦	4	1	京都橘女子	3	
横浜国立	3	1	北海道情報	1		東洋	7	2	同志社	2	7
新潟	1	1	国際医療福祉	2		二松学舎	2	1	花園	1	2
富山	2		駿河台	2	1	日本	17	7	立命館	11	15
金沢		1	獨協	1	3	日本女子	2		龍谷	1	3
福井	1		文教	4	3	日本女子体育	1		追手門学院	1	
山梨	4	1	神田外語	1		法政	5	5	関西	1	1
山梨医科	3		淑徳	1		武蔵工業	1	1	関西外国語	1	
信州	16	2	千葉工業	4		明治	4	8	近畿	4	3
静岡	8		千葉商科	2		明治学院	1	2	摂南	1	
愛知教育	2		帝京平成	1		明星	1	1	関西学院	1	
名古屋	8	3	亜細亜	3		立教	3	2	奈良	1	
名古屋工業	1	2	青山学院	4	5	立正	4	1	岡山理科	2	2
岐阜	2		桜美林	2		早稲田	5	4	川崎医療福祉	1	
三重	2		大妻女子	3		東京純心女子	1		徳島文理	2	
滋賀	2	1	学習院	1		神奈川	3	2	その他私立大学		21
京都	1		北里	3		神奈川工科	2	3	私立大学計	273	185
京都教育	1		共立女子	1		関東学院	1	2			
大阪		1	慶應義塾	6	5	湘南工科	1	1	短期大学		
大阪外国語	1		恵泉女学院	1		鶴見	2		国公立短大	20	1
奈良女子	2		工学院	2	1	東京工芸	1		私立大学	29	3
島根		1	国士館	2	3	東洋英和女学院	1		合計	49	4
香川	1		芝浦工業	2	3	金沢工業	4		専修学校		
愛媛	2		順天堂	3		帝京科学	1		看護専門学校	14	1
高知	1		上智	3	2	山梨学院	2		その他専修学校	10	
宮崎医科		1	昭和女子	1		松本歯科	1	1	合計	24	1
			成蹊	1	2	聖徳岐阜教育	1	3	就職		
			成城	2		聖隷クリストフ	1		男子	4	
			専修	6	4	常葉学院	1		女子	2	
国立大学計	88	21	創価	2		愛知	4	2	合計	6	

理数科設置決まる
十一年四月から一学級40人

来年度から母校に理数科が設置されることが六月、県教育委員会で決まりました。現在校内では設置準備委員会が、十一年四月の開設に向けて活動しております。

県内の理数科設置校は平成四年の屋代高校を筆頭に、以後五年に伊那北高校、六年に野沢北高校、十年には飯山北・木曽高校と進み、母校は七番目となります。

右のような理数科設置校が近年、進学実績などで顕著な伸びが見られるところから昨年、本校に理数科等設置検討委員会が設けられ、二月に県教委へ具申し、この度決定を見ました。

自然科学や数学に興味と関心を持つ生徒に科学的、数学的に考案し、処理する能力と態度を養う教育を目指します。

指導方針として、▽調和のとれた豊かな人間性を目指す▽生徒の資質・能力を引き出し、高める▽地域の信頼に応え、社会に貢献できる人材の育成▽生徒の進路実現を図る指導を目指します。

特に、進路については難関大学の理系、医・歯・薬学部等を目標にして、入学時より計画的に指導します。

県下公立高校に新学科が設置されて数年経過しますが、各校において、それなりの成果が報告されております。理数科以外では、英語科が中野西、県ケ丘、岡谷南、軽井沢に、体育科が飯山南、音楽科が小諸に設置されております。また、十一年には国際教育科が長野西に、会計システム科が小諸商業に設置が決まりました。なお、新学科は推薦入試を採用しているので、今後、中学校への学校訪問、説明会等を通じ、中学校側と十分な連絡を取り合いながら、生徒募集を進めていきます。

心の底から "Want to do"

生徒自治会長　北澤　和城

「年間行事予定表」これには、㊗以外にも多くのことが書いてある。強歩大会、クラスマッチ、高松祭に生徒大会。自治会主催のものも多くある。

ここでいつも思うのは予定表にはあまりにもあっさりと行事が書かれてしまっているということだ。説明がついていないとかそんなことではない。

高松祭を例にとってみると、「七月〇日、高松祭」これに向かってみんな準備を進める。高松祭が予定されているから仕方なく準備を進める。これでいいの？　高松祭を行いたいから準備を進める。準備の段階でこの気持ちでありたいと思う。

強歩大会だってクラスマッチだって生徒大会だって同じだ。いくらお決まりの行事といえども、やりたくなければ廃れてなくなってしまう。

しかし、ここで忘れてはいけないのは「やりたい」「やりたくない」の判断を焦らないということだ。何かのお祭りを貴重な伝統だからぜひ残したいとする。でも年々参加が減って衰退の気が…。みんなも忙しくて出られないし、やめたほうがいいんじゃないか。それでも残そうとする人たちがいる。なぜか。それは、お祭りのよさを知る人が、みんなによいところを伝えようとしているからだ。

このことから「やりたくない」の判断の前に、相対する良い所を考える。または「やりたい」の判断の前に同様に悪い所を考える事が必要であると言いたい。その上で自分がどう思うのか判断し、計画することが大切だと思う。

クラブ活動

ラグビー班
東日本大会出場
全国七人制大会ベスト8

文武両道の伝統ある母校では、運動部の活動が盛んで、近年はラグビー班が全国的に活躍しています。

◇ラグビー
東日本大会　9位
全国7人制大会　ベスト8

☆南信大会☆

◇柔道
男子団体　5位
個人　黒岩　ベスト8
　　　小沢　ベスト8
女子団体　優勝

◇空手
男子団体　優勝
個人　神藤　型優勝
　　　　　　組手2位
　　　菅沼　組手1位
女子団体　優勝
個人　黒河内　型2位
　　　岡田　組手1位
　　　山田　組手3位
　　　波多野組手3位

◇新体操
団体　4位

◇男子バレーボール　ベスト8

◇男子バスケットボール　ベスト8

◇卓球
男子団体　3位
ダブルス
新井・村沢組ベスト8
戸崎・矢崎組ベスト8

◇陸上
八百m　熊谷　3位
千五百m　熊谷　6位
百十mH　松川　4位
四百mH　佐々木5位
五千競歩　吉沢え1位
　　　　　江塚　2位
三千障害　塩沢　5位
走幅跳　吉沢と3位
三段飛　宮島　6位
槍投　棚田　1位
円盤投　棚田　3位
千六百mリレー　5位
学校対抗　3位
女子
八百m　小嶋　3位
三千m　小嶋　5位
槍投　千賀　7位

◇剣道
男子団体　4位
個人　田本ベスト8
女子団体　ベスト8
個人　清水ベスト8
女子個人　飯島　2位
男子団体4位

◇弓道
男子団体　優勝
個人　村田　5位
　　　片桐　8位

東日本高校ラグビー　大分舞鶴戦

第42回強歩大会

女子スタート　沢城湖

四月二十三日(木)、開会式前から霧雨の降るあいにくの天候の中、第四十二回強歩大会が行われました。

午後からは天気も回復しましたが、逆に晴れなかったために気温も上がらず、走るにはよいコンディションとなりました。そのため途中棄権者も十三人と少なく、ほとんどの生徒が完歩できました。コースは例年と同じでした。

〈男子〉風越山麓公園→鳩打峠→大平宿→大休→学校（41km）
〈女子〉沢城湖→鳩打峠→大平宿→大休→学校（35km）

上位者は次の通りです。

〈男子の部〉
1位　(3I)米山　道彦　3時間43分
2位　(3I)熊谷　剛志
3位　(2E)片桐　光史
4位　(3D)塩沢　健志
5位　(2A)北沢　翼
6位　(3F)北沢　和城
7位　(3E)江塚　善彦
8位　(2H)岡嶋　悠二
9位　(3H)三石　啓介
10位　(2B)三石　宜男

〈女子の部〉
1位　(2F)斉藤由紀子　3時間27分
2位　(3H)南波　有希
3位　(3H)千賀亜珠加
4位　(2H)吉川加奈子
5位　(2C)斉藤　綾
6位　(3A)知久島千鶴
7位　(3E)横田川久美子
8位　(3C)市瀬　実鈴
9位　(2E)谷口有里香
10位　(3G)大木島芳恵

事務局だより

父、祖父の絵を訪ねて事務局来訪

「初秋暮色」市瀬　文夫作

四月十一日(日)岐阜県中津川市より、旧制中学32回卒業の市瀬文夫作「初秋暮色」に会いたいと、三人の訪問客がありました。「初秋暮色」は、市瀬文夫(山本出身)が昭和十三年東京美術学校在学中に、文夫の実家のそばの堤から二つ山を描いた作品で、当時の文展の二度目の入選作品である。本校には、長く講堂、校長室などに飾られ、現在は新校舎小会議室に掲示されて、多くの同窓生に親しまれてきました。

「初秋暮色」を見る市瀬文夫さんの遺族

文夫は美術学校中次で己れ主張の二度に一度入選し、卒業後一年半も経たないうちに、戦場へ駆り立てられ、昭和十九年二月、豊かな才能を持ちながら志も半ばにして二十九歳の若さでニューギニアで戦死。当時戦線の胎内にあったひとり息子の利氏(57)と奥さん、孫の万理さん(26)の二人が、父・祖父の残した絵に会いたいと事務局を訪れ、在学当時の事、絵の事など、懐かしげに語り、文夫の画集をぜひ出版したいとの思いを語って行かれました。

ホームページをよろしく

インターネットの活動状況

インターネット
運営委員長
原　博司

本年四月、インターネットに同窓会のホームページを開設しました。

○トップページ
　新旧校舎の写真　内容
○同窓会長の挨拶　会則
　役員組織　会の沿革
○本部の活動状況
　事業計画　同窓会現況
　記念事業
○支部の活動状況
　36支部の活動と支部長
○回数学年の活動状況
　中22回から高50回までお知らせします。
○事務局だより
　総会の案内　会費納入
○学校関係
　学校の沿革　歴代校長
　職員組織　会の沿革
　班・同好会などの紹介
○校歌・応援歌を聞く
　写真を見ながら6曲
○ふるさと情報便　委員が書く故郷の便り
○ふるさと写真館
　懐かしいアルバムなど情報をお待ちしております。

寄贈品の紹介

同窓会へ今回寄贈された書籍等は次の通りです。(内は寄贈していただいた方です。(敬称略)

「旧制松本高等学校同窓会報」　(中47篠田治雄)
「歌集花時計」　(高4近藤修子)
「七十周年記念誌」

花時計

「眼、ことぼす別れ」　(高9横川俊夫)
「信濃毎日新聞」　(中29田中正明)
「満蒙開拓青少年義勇軍の手記」
「有価証券報告書で危ない会社伸びる会社がわかる本」　片桐　正
　(高4近藤修子)
「七十周年記念誌」　岡　正照共著
VTR「小さな旅」　(高2片桐　正)
H9・12・6放映。このVTRは、NHK長野リーズ「忘れられない人たちの旅」の第四回目の放送で、今年の三月に放送されました。

松下氏より寄贈された応接セットと書棚

同窓会会長松下逸雄氏より、事務局の方へ応接ファーセット一式と書棚が寄贈されました。一〇〇周年を迎えた、来訪者の多くなる事務局へ一層充実されました。

かつての山岳部員(高5回在ブラジル)の新井光夫氏の投稿による手紙が本校元教諭で英語担任、山岳部の顧問であった渡辺衡先生のご逝去を偲ぶ会のもたまたまこの放送を観た、当時浜松商業高校でソフトボール部正選手として「有価証券報告書で危ない会社伸びる会社がわかる本」の著者の片桐正氏より、寄贈されました。

同窓会応接室に書棚と応接セット一式昨年十一月、新装なった本館と、同窓会を訪ねられた前会長松下逸雄氏より、事務局の方へ応接ファーセット一式と書棚が寄贈されました。一〇〇周年を迎えた、来訪者の多くなる事務局へ一層充実されました。

維持会費納入のお願い

ご承知のように、わが同窓会は、会員の納入金によって運営されています。近年の経済不況の時代にも、会費納入者数の増加していることです。

西暦二千年には独立百周年を迎える母校の同窓会が、さらに発展します為に、一万八千五百名の会員の皆さんの納入へのさらなるご協力をお願いします。

○お振り込みのおすすめ
　このところまとめて前納入者が増えています。払込手数料の節約のためもおすすめしたいところです。(括納入の希望の方は、払込用紙に十年分の十年分を納めて下さい。(年額一、〇〇〇円です)
終身会費＝三〇〇〇円
(八〇歳－年齢)
なお、払込用紙は信機にて発行いたします。
○終身会費希望者
　入学の時五年分を納めて下さい。
○会費の減免
　1　本年度分既に前納されている方
　2　卒業二年未満の方
　3　80歳以上の方

悪質な電話にご注意を

最近会員の自宅へ、飯田高校や飯田高校同窓会の名を騙り、職員の偽名まで使って、会員の住所・電話番号を聞き出す悪質な電話がふえています。

同窓会や母校ではこのような問い合わせは一切行っていません。「名鑑」などは作っていません。

会員や家族の方、くれぐれもご注意ください。

注意

歌集「花時計」より

○緋の桜、くれない椿、朱の木瓜、冬を耐え来て己れ主張の二度に一度入選し、卒業後一年半も経たないうちに、戦場へ駆り立てられ、昭和十九年二月、豊かな才能を持ちながら志も半ばにして二十九歳の若さでニューギニアで戦死。当時戦線の胎内にあったひとり息子の利氏(57)と奥さん、孫の万理さん(26)の二人が、父・祖父の残した絵に会いたいと事務局を訪れ、在学当時の事、絵の事など、懐かしげに語り、文夫の画集をぜひ出版したいとの思いを語って行かれました。

○学びたきことなど夢に描おり子の卒業は母の出れ
○ねんごろに父の絵を掲ぐる人ありてふるさとゆえの情深かりき
○わが父の遺せし画筆絵具など想いをこめて吾子に渡せり

花時計

会員訃報

中18竹田大治子　7・12・1
中18村沢太郎　5・4・1
中20飯田理高　6・11・23
中24杉本　謙　10・2・26
中24鈴野清一　10・2・29
中24長谷川明男　10・9・29
中27金森　博　11・11・20
中27山上　惇　9・11・20
中28前田昌宏　9・5・23
中28前島栄一　9・7・4
中29古瀬　義　9・7・12
中30野原　正　9・10・18
中31飯田實三　9・6・22
中31沢辺久雄　9・6・5
中31飯田正短　9・1・6
中31須田正三　9・11・18
中31高橋正美　9・3・6
中31飯沢善司　9・12・31
中31林　節司　9・12・25
中32小池宗実　9・6・1
中33竹内守彦　10・5・4
中34野原義男　9・10・23
中34澤貞雄　9・12・13
中35沢畑文彦　9・7・8
中36原村高志　9・7・27
中36唐山　繁　9・6・1
中36唐山　達　10・6・1
中37村松　勝　9・11・28
中41林村哲雄　9・6・19
中41林和宏　9・11・19
中42松島山　真　10・5・23
中45井出隆夫　8・9・13
高3小口勝弘　9・1・2
高4小沢　豊　9・7・6
高4小平大作　9・11・16
高4池渡賢子　9・12・3
高5宮下信彦　9・8・2
高5秋原明分　8・12・25
高10金田康孝・4・8・30
高11林館司　9・7・8
高11松木喜尚　9・5・11
高12小川　守　9・6・14
高16牧牧直　10・4・16
高21草間美　9・11・26
高21宮岡　純　9・2・7
高25村和男　10・1・8
高29伊藤之一　10・1・1
高29伊沢隆治　9・8・17

◇おわびと訂正◇
前号記載の松島泉さんは、中32となっておりますが、高32の誤りです。訂正してお詫び致します。

◇ご存じですか？
◇個人情報の悪用◇
平成八年版の名簿発行以来、個人番号の活用が急増してきました。今後もより一層の活用をお願いします。

学年番号
(50音順)

中	辛	回数
一	0	1
一	1	2
高	2	3

校歌・応援歌CD発売中

代　金　¥1,400円（送料共）
郵便振替　長野00510＝5＝14370
加入者名　飯田高校同窓会
CD制作委員会

編集後記

平成十年度前期第三十期生の計画が立ち上がりまして触れる編集委員各位の努力により、五回の委会の結果として印刷完了しました。

同窓会館は「独立百周年」の記念事業の委員会が連絡を密にして開かれ活発に満ちており、一つの委員会が終えると次の委員会が待っているという模様を呈しております。

一面で紹介のように記念事業の中で、ブロンズ像またはモニュメントの設置が計画されていますが、委員会では会館各地の活躍している会員に広く呼びかけます。自薦を求めてまいります。他薦でも結構です。問い合わせ連絡は事務局へ。次回委員会は十二月一日終えるとの予定です。各支部や学年などの原稿はお早めに。

編集委員

委員長　高4　平沢　秀明
副委員長　高4　上松　公平
委員　高7　市沢　宗雄
　高12　小川谷勝世
　高13　仲川　長三
　高14　岡田　昌子
　高19　矢沢　昇
　高45　下原　光子
学校委員　高17　斎藤　憲
　高31　大平　泰嗣
　高28　小澤　健
　高33　伊藤　一徳
事務局　高3　宮下　洌